

会 議 録

会 議 の 名 称	第 3 回 枚 方 市 立 市 民 体 育 館 教 育 委 員 会 指 定 管 理 者 選 定 委 員 会
開 催 日 時	平 成 30 年 10 月 23 日 (火) 午 後 6 時 00 分 から 午 後 7 時 45 分 まで
開 催 場 所	市 役 所 別 館 4 階 特 別 会 議 室
出 席 者	会 長 : 相 模 太 朗 委 員 副 会 長 : 服 部 純 子 委 員、 委 員 : 高 見 彰 委 員、梅 垣 明 美 委 員、松 永 敬 子 委 員
欠 席 者	な し
案 件 名	(1) プレゼンテーションについて (2) 採点について (3) その他
提 出 さ れ た 資 料 等 の 名 称	<u>資料 16</u> 第 3 回 枚 方 市 立 市 民 体 育 館 指 定 管 理 者 選 定 委 員 会 プレゼンテーションについて <u>資料 17</u> 採点表 <u>資料 18</u> 評価コメント記入用紙 <u>参考資料 1</u> 進行予定表 <u>参考資料 2</u> 指定管理者選定基準に係る補足説明資料
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請団体（3 団体）の提案内容に対する採点及び評価コメントを 10 月 29 日までに事務局に提出する旨を決定。 ・ 評価コメント等については、事務局でとりまとめ、11 月 5 日開催の第 4 回委員会に提出する。
会 議 の 公 開、非 公 開 の 別 及 び 非 公 開 の 理 由	非 公 開 ・ 枚 方 市 情 報 公 開 条 例 第 5 条 第 (6) 号 の 規 定 に よ る 非 公 開 情 報 が 含 ま れ る 事 項 に つ い て 審 議 等 を 行 う た め。
会 議 録 等 の 公 表、非 公 表 の 別 及 び 非 公 表 の 理 由	本 委 員 会 の 答 申 後 に 公 表
傍 聴 者 の 数	—
所 管 部 署 (事 務 局)	社 会 教 育 部 スポーツ振興課

審 議 内 容

(開会 午後6時)

(会長) それではただいまから、第3回枚方市立市民体育館教育委員会指定管理者選定委員会を開会します。尚、今回、応募団体が多数となったため、第3回枚方市立伊加賀スポーツセンター教育委員会指定管理者選定委員会を先週10月16日(火)に、第3回枚方市立市民体育館教育委員会指定管理者選定委員会を本日10月23日(火)に、第3回枚方市立総合スポーツセンター教育委員会指定管理者選定委員会を来週10月30日(火)に開催させていただき、第4回選定委員会につきましては、11月5日(月)に3施設あわせて開催させていただきます。

まず、事務局から、委員の出席状況と本日の進め方について説明をお願いします。

(事務局) 本日の出席委員は5名で、委員全員のご出席をいただいております。よって、会議として成立していることを報告させていただきます。

それでは、次に、資料の確認をさせていただきます。

本日お配りしておりますのが、委員会の次第を記しました次第書、そして資料16ですが、10月1日の委員会におきまして、プレゼンテーションの日程が決まっていない部分がありましたので、今回日程を入れまして資料として添付しております。資料17採点表、また、資料18評価コメント記入用紙でございます。

それから、参考資料1として、本日のプレゼンテーションの進行予定を記載したものと、参考資料2として、前回の会議でお配りしたものと同一資料となりますが、資料6「指定管理者選定基準に係る補足説明資料」でございます。

資料としては以上ですが、その他、申請団体の申請書一式の写しや、採点メモ等につきまして、それぞれお手元でございますでしょうか。

(事務局) なお、本日は、10月1日(月)の委員会でご決定いただきましたとおり、申請団体のプレゼンテーション、また、採点に関する確認等、必要な審議を行っていただく予定をしております。

説明は以上でございます。

(会長) ただいまの事務局からの説明について、委員の皆様から何かご質問やご意見等はありませんか。

(「なし」の声)

案件(1) プレゼンテーションについて

(会長) よろしいですかね。それでは、次に移ります。

案件(1)「プレゼンテーションについて」を議題とします。プレゼンテーションに入ります前に、まず、申請団体の事業計画の提案内容と枚方市立市民体育館に係る確認事項に関して、評価への観点や考え方等、共有すべき認識などについて、ご協議いただきたいと思っております。

事務局から、まず採点方法について説明をお願いします。

(事務局) それでは、ご説明いたします。前回の委員会においてご確認いただいた内容とも重複しますが、ご了承のほど、お願いいたします。

審査においては、前回お持ち帰りいただきました採点メモ、これは参考資料としてお配りした資料でございますが、これもご活用いただきながら、委員ごとに、資料17の採点表に、AからEまでの5段階でご記入、ご採点いただくものでございます。指定候補者の選定における内容審査は、申請団体から提出のあった事業計画書が、本市が求める確認事項を満たしているかをご確認いただくとともに、加点事項に該当するかをご判断いただき、A評価からE

評価として採点いただくものでございます。

評価につきましては、お手元にお配りしております**参考資料2**「資料6 指定管理者選定基準に係る補足説明資料」をご参照いただければと存じます。

なお、本日のプレゼンテーションにおいては、「採点メモ」もご活用いただきながら、確認事項や加点事項に関して、申請団体の事業計画書等の書面からは読み取れない部分などについて、ご確認いただければと考えております。

最後に、**資料18**の評価コメント記入用紙について、ご説明いたします。

これは、今回の指定候補者選定において申請団体の採点・評価を行っていただくに際し、その申請団体に関してよかった点、よくなかった点などの評価理由についてご記入いただくものでございます。

最終的には、委員5名の採点結果と指定管理料の額による点数を合計した総合評価の点数とあわせて、各委員にご記入いただいたものを一本化した評価コメントを議会等に公表していただくこととしております。

なお、11月5日（月）の、第4回目の委員会におきまして、採点結果の集計及び一本化したコメント案をご提示させていただく予定をしております。

説明は以上でございます。

(会長) ただいまの説明に対して、委員の皆さんからご質問、ご意見ございませんか。

(「なし」の声)

(会長) よろしいですかね。それでは、次に、プレゼンテーションを実施する前に、申請団体の事業計画の内容や、採点に関して委員の間で共有しておくべき事項等について、委員の皆様からご意見はありませんか。

(「なし」の声)

(会長) よろしいですかね。それでは、準備がよければプレゼンテーションを実施したいと思しますので、事務局で申請団体の誘導をお願いします。

(申請団体① 入場・準備)

(事務局) よろしいでしょうか。それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は10分間です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の10分になり次第、終了とさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。

準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

(申請団体①の出席者、自己紹介)

(申請団体①) それでは、申請書および事業計画書のご説明に入らせていただきます。本日は、お伝えしたい内容を3点に絞りご説明させていただきます。

まず、1点目は経営の継続性・安定性についてご説明いたします。事業計画書様式第2号11ページをご覧ください。シンコースポーツ株式会社は、昭和32年11月に創業して以来、公共のスポーツ施設の管理運営に特化してきた企業です。平成17年度の指定管理者制度の導入以来、いち早くそれまでの委託業務から指定管理者業務に移行させ、数多くの施設を管理させていただいております。売上高も平成28年度期以降は全体で100億円を超えており

ます。指定管理者受託実績といたしまして、グループ全体では 94 自治体、321 施設の実績を有し、4 月現在では全国 276 施設の管理運営を行っております。現在の大阪府内での管理としまして、当施設のような類似施設は堺市家原大池体育館や、大阪城弓道場を指定管理者として管理運営を行っております。

続きまして、事業計画書 14 ページをご覧ください。次に構成企業である、日本管財株式会社は、昭和 40 年の設立以降、約半世紀にわたり関西に基盤を置いて、法令を遵守した適切な維持管理を行ってきた東証一部に上場する国内有数の総合ビル管理企業でございます。業務の内容は多岐にわたっており、どのような設備トラブルに関しましても適切な対応を行うことが可能です。また、代表企業と同様に、指定管理施設を含めた数多くの建物管理の実績を有しており、維持管理業務、省エネ対策などによる建物のライフサイクルコストの低減に寄与するとともに、抜群の財務体質により 5 年間の安定した運営を保証いたします。

私たち 2 社が指定管理者として施設の管理運営を行うことで、施設運営、維持管理においてより強固な体制を構築することができ、安心安全で快適な環境づくりをお約束できると考えております。

2 点目につきましては、施設運営に関する計画について説明いたします。事業計画書 20 ページをご覧ください。当グループは、指定管理者として施設の管理運営を進めるにあたり、本制度の導入目的である施設利用率の向上、利用者数の増加等を達成目標とする一方で、経費の削減を図り、市の負担が軽減されることが求められるということをも十分理解しております。また、当施設の現状や代表企業が管理する同規模施設での状況を踏まえながら、新しいサービス提供に関わる部分には、それ相応の経費を見積もるなど、高品質を担保し適切な金額を算出しております。その結果、指定管理料上限額から 600 万削減する計画となりました。公募内容の中で、利用者の方が最も心配されると思われる駐車場有料化ですけれども、当グループは駐車場料金設定において利用者の負担を最小限に抑えることを第一に考え、料金の設定を行いました。事業計画書 22 ページをご覧ください。当グループは施設利用者に対して 1 時間の無料処置を行います。3 時間を超過した場合においても最大料金 400 円と設定し、これ以上の駐車場料金は徴収いたしません。施設利用者以外の駐車利用料金については、5 時間を超過した場合最大料金 1,000 円が適用されます。駐車場の運営管理につきましては、多数の自治体、公共施設、駐車場管理実績のあるタイムズ 24 株式会社を協力企業として、ともに施設の駐車場運営管理を行ってまいります。また、カーシェアリングの導入についても枚方市担当課と協議を行い、導入していきたいと考えております。

3 点目につきましては、利用者サービスを維持向上させる具体的な取り組みについて説明いたします。事業計画書 52 ページをご覧ください。ラウンドフィットネストレーニング器具の設置についてです。当施設において、会議室等の空き時間の有効活用として、ラウンドフィットネスという負荷の軽いトレーニング器具を導入します。筋力運動と有酸素運動を 30 秒間交互に繰り返すことで、シェイプアップ、筋力アップ等の運動効果が得られます。介護予防事業で高齢者筋力向上トレーニング等の実施場所として指導を含め対応が可能です。

また、運動型健康増進施設の認定を目指し、将来的には厚生労働省の指定運動療法施設として、地域住民の健康維持増進をサポートしていきたいと考えております。

その他の取り組みとしまして、事業計画書 54 から 56 ページに記載していますように、体の歪みや筋力の衰えが瞬時に測定できる、ピーク・ア・ボディ姿勢解析測定会や映像を使用したレッスンプログラム、ジョイントエクササイズを展開を行ってまいります。また、2 階ロビーを利用し、ボルダリングコーナーを設置します。東京オリンピックでの正式種目である、スポーツクライミングは一部の愛好家だけでなく非常に多くの方々に楽しまれており、近年最も注目されているスポーツの一つです。イベント事業では、株式会社よしもとクリエイティブエージェンシーと連携し、ふれあい運動会を年 1 回開催します。普段、外出が少ない高齢者層や地域の子ども達を対象に、よしもとの芸人、タレント、所属アスリートと一緒に

運動することで、多世代の交流の場を創出します。当グループでは計画している事業計画に対して、株式会社よしもとクリエイティブエージェンシーより関心表明をいただいております。

続きまして、館内照明の LED 化についてのご提案です。水銀に関する水俣条約の批准により、2020 年以降一定の水銀量を含むランプは原則として製造されなくなる見込みです。当グループでは、初期コストを一切掛けないレンタル導入を提案いたします。詳しくは事業計画書 57 ページをご覧ください。指定管理期間である 5 年間をレンタル契約とし、LED 導入により電気代が大きく下がるため、月々のレンタル料を含めても現在の電気代の範囲内の運営が可能です。また、5 年間のレンタル期間終了後も設置した LED 照明はそのまま利用することが可能となり、商品は施設のものになるため、レンタル料の掛け捨てにはなりません。当施設のシミュレーション結果では、レンタル料を差し引いても年間 135 万円の削減ができる見込みです。

当グループが指定管理者として選定されましたら再度調査を行い、枚方市担当課と協議し、導入に向けて進めて参ります。

最後にまとめとなりますが、当グループは LED 導入と独自のスポーツコンテンツにより、明るさと賑わいを創出させ、枚方市立市民体育館と市民に新たなスポーツ振興の光を照らします。

以上を持ちまして、プレゼンテーションを終わらせていただきます。貴重なお時間をいただきまして、どうもありがとうございました。

(会長) ありがとうございました。それでは、私ども委員の方から、プレゼンテーションの内容と事業計画について、いくつか質問させていただきますので、よろしくお願いします。

委員の皆様、ご自由にどうぞ。

(B 委員) 一つお伺いしたいと思いますが、当然指定管理ということで、施設を利用される方の満足度をどう高めるかというのがすごく大事な観点だと思うのですが、例えば枚方市のスポーツ振興というような観点に立った時、体育館の利用者ではない方々に、何か御社として、こういう取り組みで利用促進だとか、体育館に來れない方々にもこういうような形でスポーツ、健康に対する意識を高めたいというような、そういう事業提案みたいなものはございますか。

(申請団体①) 先程、述べさせていただいたのですが、この施設を利用しまして、運動型の健康増進施設という形で厚生労働省から認定を受けるために、施設を活用しまして、その認定で、事業計画書 18 ページには載せていただいているんですけども、地域の利用者、高齢者の方に対してスポーツの健康増進というものを、もっとより深めて提供していけたらなという形では考えております。

(B 委員) では体育館から出て、出前ではないですけど、何か外へ向けて発信のようなものというのがありますか。今回、直接的には関係ないかもしれませんが。

(申請団体①) 現に実施している部分で、出前教室であったり、例えば婦人会の集まりであったり、子ども会の集まりの中で、例えば CPR、心肺蘇生法の手順を講義したり、実際にやってきておりますので、対応は可能ですね。またその中で、かけっこ教室であったり、そういったこともやっておりますので、外に出て PR していくことは可能でありますし、また事業計画書 54 ページの方にキッズホールの部分を充実させるという提案をさせていただいております。外が雨が降った時にどこへも行くところがないというような状況の時に、例えばこちらのキッズルームで遊んでいただいて、その間にこういうスポーツをやっているんだという広報ができれば、非常にいいかなと思っております。

(B 委員) どうもありがとうございます。

(C 委員) その関連で、59～60 ページに記載していただいている、特に現在、施設を

利用されていない方への取り組みをお伺いしたいと思います。利用されていない方々に現状と同じような情報発信をすると、内容を変えてもキャッチしていただけないということになると思うのですが、そのあたりの新しい取り組みについて、もう少し補足していただいてもよろしいでしょうか。

(申請団体) 一つは日本管財が市立ひらかた病院の維持管理をされている中で、健康増進型施設の取得に向けての協力依頼をしたのですが、間に合わなくて関心表明をいただけなかったのですが、後日そのへんの協力はしていただけるとのことで、病院の中での PR、ロビー活動を積極的にやっていくということは考えております。また小学校へ出向いて、体育館と関係ないかも知れませんが、私ども水泳事業に非常に自信をもっておりまして、その中で小学生に弊社から水泳事業をさせていただいてもいいですし、そういったことでより地域に密着して色んなことをさせていただこうかなという考えでございます。

(C委員) ありがとうございます。

(A委員) イベント事業の中で、よしもとクリエイティブエージェンシーと連携した「ふれあい運動会」は非常に魅力的だなと思いますし、運動を日頃しない方の興味関心もあって、参加したいなと思うかも知れないのですが、この参加受講料が 1,500 円と設定されていますが、少し 1 回ぼっきりのイベントとしては高いのかなと思ったりもするので、受講料に 1,500 円という設定料金の根拠をご説明いただいてもいいですか。

(申請団体①) 一つは保険料が含まれているところと、あと子どもに対して参加賞的なものも含んでおりますので、その賞品代が含まれております。やはり、多くの芸人を呼ぶとなるとそれなりの費用が掛かりますので、そのへんの補充の部分で費用を 1,500 円に設定させていただいております。だいたい 100 人規模で 200 万円とかそれぐらい掛かる事業になりますので、本当は細かく年 2 回ぐらいやりたいのですが、年 1 回で盛大にやりたいと思ひまして計画を立てました。

(A委員) わかりました。

(副会長) 今ご質問があった、よしもとの件なんですけども、芸人を何人か呼べるとのことので 200 万円ぐらい掛かるとお伺いしたのですが、自主事業のところの講師料に 210 万円計上されているのですが、よしもとの 200 万円くらい掛かるということであれば、残りが少なくなってしまうので、それだと他の講師料が間に合わないのかと思ったのですが。

(申請団体①) 会社から持ち出してでもやりたいと思っております。また、自主事業の収入で得た部分を回してもいいかなと思っておりますので、予算的には回せるかと思ひます。

(副会長) この 210 万円には、よしもとの部分は入っていないということでもよろしいでしょうか。

(申請団体) はい。

(副会長) わかりました。ありがとうございます。

(C委員) 先程のよしもとのお話なんですけど、その日に来ていただくことも大事ですけど、そこから継続していただく仕掛けを盛り込んでいただかないと多分一過性で終わってしまいます。かなりの予算を費やしておられるので、そういった仕掛けもしっかり考えていただきたいということが一点と、駐車場が有料化となることに伴って、利用者の方が離れていけないための、しかけについて、一番ここにポイントを置いていますというところを補足、強調していただいてもよろしいでしょうか。

(申請団体①) 基本的に、無料にすることは不可能なんですけど、施設利用者には 1 時間の無料設定を設けさせていただいており、タイムズ 24 という、しっかりとした協力企業のもと、駐車場管理するというので、ご理解いただきたいという部分が本音にあります。

(C委員) 駐車場の料金というよりは、有料になったので、もう行くのをやめてしまおうかなという人の意欲を高めるための補足的なプログラムというか、仕掛けのようなものは何かありますか。

(申請団体①) 体育館の利用者だけでなく、トレーニング施設にも、常駐で1人ポイントとしてスタッフを置きますので、そういうところで少しでも体育館へ足を運んでいただけるような、継続していただけるような接客、対応であったり指導であったりというのを実施していきたいなどは考えています。あと、体育館に足を運んでいただけるという部分において、56 ページに書かせていただいています、近隣の授産施設のパンやクッキーといったものを販売していただいて、体育館を利用しなくてもこちらの方で購入できると、またちょっと外で食事したい場合でも、ここでパンを買っていただいたら車をいちいち出さなくてもいいような状況はつくれるのではないかなと思います。

(C委員) はい。

(会長) 他に何かございませんか。よろしいですかね。

(質問等なし)

(会長) それでは質問も出尽くしたようですので、これをもちましてプレゼンテーションを終了いたします。どうもありがとうございました。

(申請団体① 退室)

(会長) それでは、ここで、委員の皆様から事務局に質問や確認されたい事項等がありましたら、お願いします。

(「なし」の声)

(会長) 特にごございませんかね。それでは、準備がよければ、次の申請団体に移りたいと思いますので、事務局で申請団体の誘導をお願いします。

(申請団体② 入場・準備)

(事務局) それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は 10 分間です。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の10分になり次第、打ち切りとさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆様からの質問にお答えいただきます。準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

(申請団体②の出席者、自己紹介)

(申請団体②) 当協会は昭和 49 年に法人化をいたしました。枚方市のスポーツ推進を目的に、これまで取り組みの方を行って参りました。公益法人制度改革が行われた際や企業が従業員の健康づくりに経営的視点から取り組む健康経営優良法人制度が行われた際など、スポーツ団体として全国で第1号の認定をいただきました。目的達成のために私たちは積極的な活動を行う組織風土で取り組みを行っております。

渚体育館が市民スポーツ推進の場となるように全ての市民の皆様が、する・見る・支えるのいずれかのスポーツに参加していただくことを目指した市民総参加型スポーツ推進システムによる運営を行って参ります。また、少子高齢化や学校の運動部活動、ビッグイベントの開催など社会の変化に伴ってスポーツに対するニーズが多様化しています。こういった多様化するニーズに対応するためにアシックスジャパンを構成団体とすることで、枚方市内だけでなく幅広いスポーツ界との連携など枚方市に新たな風を吹き込むことが可能となります。具体的にはトップアスリートの招へいや東京 2020 オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーならではの権利を活用した活動等、新たな事業展開が可能となります。市民の皆様にも更に

魅力的なスポーツ体験をしていただけるよう、渚スポーツコミュニティ共同事業体を結成いたしました。当協会は、平成 10 年の渚体育館開設より管理運営を行っており、施設特有のリスクなど事前に予測し迅速に対応することが可能です。構成団体につきましても、安定した経営基盤と管理運営実績を有しております。渚体育館の経営方針につきましては、バリアフリー化されていることや、その立地条件から市民の健康と生涯スポーツの情報を発信をする拠点としての運営を行って参ります。

今回より利用料金制度が導入されますが、利益優先の運営に偏ることなく平等かつ公正に運営を行うとともに、予定した額よりも収益が出た場合に関しましては、枚方市と相談し施設整備や備品の購入、スポーツプログラムなどを通じて市民の皆様へ還元して参ります。更に駐車場の有料化が導入されます。引き続き気軽にスポーツを楽しんでいただけるようスポーツ推進の観点から可能な限り低価格で提案をさせていただきます。合わせて個人共用使用について 10 回分の利用料金で 12 回ご利用いただけるお得な回数券の販売をご提案しております。

誰もがスポーツを気軽に楽しんでいただけるよう、私たちのノウハウを最大限に活用し、様々な提案を行っております。特にビジネスパーソンや子育て世代の運動実施率向上が課題となっております。出勤前や勤務後にスポーツを気軽に楽しんでいただけるよう、早朝や夜間の開館時間を延長したプログラムの検討など行うとともに、保育付きのプログラムを提供いたします。学校部活動の支援といたしまして、顧問、指導者対象の講習会を実施いたします。また、金曜日の休館日を活用しました大会の受け入れ等を行って参ります。さらにスカイアリーナを活用し、弓道部やアーチェリー部の設立のご提案を行って参ります。無関心層への取り組みとしまして、興味を持っていただくきっかけ作りが重要です。筋肉や体脂肪など気軽に測定できる機器を導入し、測定結果から健康づくりへの大切さに気付いていただくような取り組みを行って参ります。また、カルチャースクールなどの実施やロビーを活用した写真展を企画するなど、スポーツに興味のない方も施設に足を運んでいただくことでスポーツに興味を持っていただくきっかけ作りを行って参ります。こういったスポーツを継続する場として、総合型地域スポーツクラブや加盟団体、サポーターズバンクなど資源を活用できるのも、私たちならではの強みです。

今回、プラスアルファの要素として位置づけました、健康スポーツの実施に当たり、エビデンスや安全性を確保するために関西医科大学健康科学センターと連携いたします。病院で保険適用期間のリハビリを終えた生活習慣病等の疾患を有する方に対して、病院と渚体育館がインターネットを通じて医師から適切な運動強度等の指示を受け、渚体育館で運動を実践していただきます。こういった形で渚体育館を安全にスポーツを楽しんでいただける拠点として検討を進めて参ります。その他にも市民が好きなプログラムを選択し、ワンコインで気軽に参加できる定期的な健康づくりプログラムを展開して参ります。

人員配置については、総括責任者及び副責任者は施設管理やスポーツ指導の有資格者を配置いたします。また、これまでの経験から教室の実施時や利用状況に応じて、要項に定められた最低人数よりもスタッフを動員し、臨機応変な対応を行って参ります。採用に当たっては、地域採用を基本とし、市民ボランティアの皆様にも力を発揮していただきます。地球環境に配慮した運営を行うために、KES 環境マネジメントシステムを取得しました。私たちは環境経営にも真摯に取り組んで参ります。その方策の一つとしてフィットネスルームや事務所などの蛍光灯を LED 照明に変更することをご提案しております。防犯や防災に関し、様々なリスクを想定した危機管理マニュアルに基づき、訓練と研修を定期的に行って利用者の安全を守ります。広報面でも構成団体の持つ強い発信力を活用するとともに、地域コミュニティや地域包括支援センターなど地域住民の方にもご協力いただき、様々な情報をお届けして参ります。

今回の提案で想像したのは、多くの市民が集い、目的に応じて気軽にスポーツを楽しむ市民の姿です。この提案は市民や地域団体の皆様、日本を代表するトップチームやスポーツ

団体の皆様、様々なステークホルダーと協働することで実現する提案となっております。地域住民も含め、多くのステークホルダーの方と協働することで、渚体育館のファンも増加すると考えております。この提案ができるのは、これまで枚方市に根付いたスポーツ推進を行ってきた私たちだけの強みだと考えております。最後になります、次の5年間、渚スポーツコミュニティ共同事業体は提案の実現に向けて全力で取り組み、安定した運営と渚体育館の価値を高めることをお約束してプレゼンテーションを終えたいと思います。今回、アシックスジャパンというパートナーと共に、これまで以上に市民の皆様に魅力的なスポーツをお届けできるということで、今回の提案をしながら非常にワクワクしております。ぜひ、私たちにお任せください。ご清聴ありがとうございました。

(会長) ありがとうございました。それでは、私ども委員の方からプレゼンテーションの内容と事業計画についていくつか質問させていただきますのでよろしくお願いします。

それでは委員の皆様お願いします。

(B委員) それでは何点かお聞きしたいんですけども、事業展開の中で、トレーニングルームの朝活・夜トレという形での利用拡大を図る提案がされているのですが、こちらの事業計画書には8時45分から21時30分というシフトが出ているのですが、具体的に何時から何時ぐらいまでの、実際の利用時間を考えられてるのでしょうか。

(申請団体②) 現状でどれぐらいニーズがあるかわからないので、朝の開館時間を8時45分より前の1時間、9時以降の1時間、10時ぐらいまでの1時間程度を今のところ考えております。

(B委員) 朝活というか、ちょっと出勤前に一汗かいてというような大胆な時間設定をされるのかなと思って。

(申請団体②) まずはそれぐらいからスタートさせていただいて、ちょっとニーズを調査していただいた後に拡大を考えていこうかと考えています。

(B委員) ありがとうございます。次に、すごく幅広い事業展開が提案されていて、先程のプレゼンテーションでも構成団体と組むことによって幅が広がるとおっしゃっていたんですけども、スクラップアンドビルドじゃなくて、実際に今まであったものに新規のものが乗っかっている感じがしているんですが、人的なものや収支のところが十分に回っていくのかどうかというのと、その拠り所みたいなものがもしあれば聞かせてもらえればありがたいのですが。

(申請団体②) 今回の提案で、要項にも記載されておりますように常に正規職員1名が常駐するというので、プラス、状況に応じてスタッフを1名、要項よりも多く配置するというのを考えておりますので、そういうところで人的な余裕というものが生まれてくると思います。ぜひ市民に喜んでいただける前向きな取り組みを増やしていきたいと考えております。

(B委員) では駐車場の収益であるとか、そういうものも事業に回しながらというような考え方ですか。

(申請団体②) そうです。我々、市民ファーストと言いますか、利用者を優先に考える上で、指定管理料の上限額の中でできる範囲内の提案をしていきたいというスタンスで提案をさせていただいておりますので、実現したいと思っております。

(B委員) はい。ありがとうございます。最後にもう一つ、トップ戦略というのが行われていますよね。これは今も行われていますし、これから継続して行われていくということですが、市のレベルでこのトップ戦略というか、トップアスリートを育成していくことをやっているのは全国であまりないんですが、これは種目特化型でやられているのですか。それとも何か基本的なアスリートの能力を高めるためのトレーニングをやるのですか。

(申請団体②) 今のところなんですけども、都市公園の指定管理者もやらせていただいておりますので、そちらの方は木幸スイミングスクールとジョイントで、強くなりたい方はいつ

でも来れるような事業を、夏の短い期間なんですけどやらせていただいています。あとキングフィッシャースポーツクラブや、バレーボールチームのパンサーズと協働しております、主なところはそれらの大きな二つ中心です。また種目の方もこれから協働していくような団体と一緒に。今回、スペシャルオリンピックス日本・大阪との連携も提案させていただいておりますので、障害者のスポーツもそちらの団体と広げていけたらなと考えております。

(B委員) 今のところスイミングと、バレーボールですか。

(申請団体②) 大きなものは。あと陸上もスクール事業でやってまして、そちらも全国大会に年に一人二人参加している選手も育ってきておりまして、大きなところはその3種目という形になってます。

(B委員) はい。ありがとうございます。

(C委員) 主に18ページ19ページのところで、駐車場の有料化に伴って利用者減少約10%を見込んでおられるのですが、今実際に管理運営をされていて、お声を聴いているとか何か具体的にありますか。あと、多分枚方市としては10%減ではなくて何とか現状維持を目指してほしいと思われていると思うのですが、そのあたり理想と現実も踏まえていかがでしょうか。

(申請団体②) 結構、窓口等では厳しいお声も頂いておりまして、提案する中で消極的な感じもしたのですが、現実的なところを最低限お約束できる数字として10%の減を見込ませていただいているというところなんです。駐車場有料化につきましても初めてのことで、ちょっと見えないところもございまして、最低限がこの10%というところで、できればもっと数字は提案させていただいている回数券等で何とか収めたいとは思っているのですが、お約束できる最低限の数字ということで、今の数字を挙げさせていただいております。補足になりますけど、近隣市の状況も聞いたうえで10%という数字を挙げておりますので、参考として10%という形で提案させていただいております。

(C委員) 目標利用者数については、かなり厳しい見立てをされているというところで、現実的なところで落とし込んでおられると思います。しかし、例えばアーチェリーをみると5年目の最後の年にも利用者数を取り戻せていないという設定なのですが、オリンピックやワールドマスターズゲームズなどの関心が高まる中で、新提案も多くされているので、できれば広報等も頑張ってくださいです。駐車場料金は有料だけれどもこんな魅力がある、というのをどんどんできれば発信していただきたいと思います。そういったところで今までの広報とは違う形で、新規開拓の展開をしていただく可能性がありますし、駐車場が有料化になったら情報は益々シャットアウトしてしまうこともあるので、そのあたりで何か今までとは違うプロモーション戦略をお考えであれば、特にこういうところを強化しますよというものがあれば補足していただければよろしいでしょうか。

(申請団体②) 地域の方に、地域包括支援センターも含めまして積極的にというのが一つ、構成団体にアシックスが入っておりますので、アシックスの力をお借りして、もっと幅広く広報展開もさせていただきたいと考えております。

(C委員) どうもありがとうございます。

(A委員) すいません。先程、ご質問のあったトップ戦略はすごく魅力的だなと思います。それで23ページなんですけど、学校との連携事業というのをお考えになってらっしゃるといことでお伺いしたいのですが、例えば運動部活動の設立と書かれているのはもう目途が立っているのかとか、実際にやっていますよとかありましたら教えていただきたいと思うのですが。

(申請団体②) 今のところ、目途は立っている状態ではございません。

(A委員) ではこれから。

(申請団体②) はい。先のことを考えて、この5年間で何とか公共施設で学校スポーツと総合型クラブとの連携とかいうのを、中々簡単にできることじゃないと思っておりますので、何とか形作りをさせていただきたいと。特にアーチェリーや弓道とかも学校にないスポーツ

なので、そういうニーズももしかしたら児童、生徒の中にあるかなと考えております。

(A委員) すごく魅力的だなと思うのですが、例えば学校との連携は、過去に色んな事例とかあるのですけれど、想定される問題とかメリットだけじゃなく、デメリットもあると思います。何かこんな対策があるというのがありましたら教えてください。

(申請団体②) 校外の活動になってしまいますので、引率の問題とかその辺がおおきな壁と
なってくるんじゃないかなというふうには考えております。私ども、ずっと地域のスポーツを
やってきて、顧問の他の部活動の先生方とのつながりもございますので、そういうところから
少しでもお話をしながら何とか形づくりをできたらなと考えております。

(A委員) はい。すごく魅力的だなと思いますので、ぜひ進めていただきたいです。ありが
とうございます。

(申請団体②) 補足ですが、実は今日アーチェリーをされている方から、中学生が何とか
使えないかと依頼を受けまして、中学生でもやっぱりやっておられる方もおられるというこ
とで、中学校の部活という形もしくは親御さんと一緒に来てやれる体制が取れないかと聞いて
おりますので、それに向けてアーチェリー同好会というのが枚方市にございますので、そこ
連携しながら進めていきたいと考えております。

(A委員) はい。わかりました。

(副会長) 3点程あるのですが、まず1点目ですが51ページの市内の小中学校への
スポーツ指導員の派遣ということで、中々いいご提案だなと思って見させていただいて
いるのですが、こちらは、ボランティアでいかれることになるのでしょうか。

(申請団体②) それは今、アシックスの方で事業展開している部分を一部書かせていただ
いているのですが、現状につきましては、ある程度費用をいただいて派遣している場合もあり
ます。あと中にはボランティアとして行っている場合もあります。ただそのボランティアと
いうのは震災復興でしたり、そういった形で災害を受けた地域にボランティアで元選手を派遣
するというものもあるのですが、小中学校のスポーツ指導員なので、基本的には教育委員会を
経由しまして、学校に行く場合に関しましては、学校の授業の一環としていく場合は、費用を
いただいて行く場合が多い状況です。ただ、被災地から依頼が来た場合に関しましては、一応
社内で検討しまして、一部ボランティアとして行く場合もあります。

(副会長) そうしましたら、予算積算書の例えば31年度の費用のところでは費用弁償とい
うのと、報償金があるのですが、恐らく費用弁償というのが有償関係、2,000円や1,000円と
比較のお安いので有償ボランティアかなと思ってたのですが、あと報償金がいわゆるボラン
ティアでなくて講師を招いてされている分という認識でよろしいでしょうか。

(申請団体②) はい。大丈夫です。

(副会長) わかりました。ではあと2、3あるのですが、これはお願いといいますか要望
なのですが、ホームページを今回見させていただきましたが、積極的に行くことが決まっ
ていたら、しっかり読もうと思うのですが、どんな感じの施設かなと興味があって検索した
場合、ちょっと解りにくいと感じました。あと、枚方市民であっても、枚方市民体育館と総合
スポーツセンターの違いなど、ヘビーユーザーの方は解ると思うのですが、行ったことがない
方がイメージしにくいので、ホームページを変更されるのであれば、施設の名称は変えられ
ないとは思いますが、ニックネームなど、わかりやすくする工夫を併せてしていただけたら
嬉しいです。あと、金曜日が休館日になっており、教育委員会とは打ち合わせが必要だと思
うのですが、働いていると土日休みなので、金曜日に行きたいなどどうしても思ってしまう
ので、具体的に何か考えられていることがあれば教えていただけたら。

(申請団体②) まず、ホームページの件ですが、1年前にリニューアルをしたところ
でして、委員のご指摘のように見にくいというのであれば、もし選定されれば、というか早急
にリニューアルをしまして、見やすい解りやすいものにしていきたいと考えております。あと、
金曜日の休館日につきましては、こちら提案させていただいているんですけども、稼働率が

非常に高い部分がございますので、当協会であります加盟団体の大会等を平日にされる場合が多いんです。例えば高齢者の方であるとか、ご婦人の方であるとか、そういった大会を休館日に持っていくことによって、一般市民の方が利用できる枠が広がるということでご提案させていただいて、現時点でもそういう形をとっておりますので、基本的には休館日については大会利用、ある程度限定された方の利用ということで対応させていただいております。ただ、個人的な使用については、教育委員会と協議しながら進めていければと考えております。

(副会長) ありがとうございます。

(会長) 他にになにかございませんか。よろしいですかね。

(質問等なし)

(会長) それでは質問も出尽くしたようですので、これにてプレゼンテーションを終了いたしますので、どうもありがとうございました。

(申請団体② 退室)

(会長) それでは、ここで、委員の皆様から事務局にご質問や確認されたい事項等ありましたら、お願いします。

(「なし」の声)

(会長) よろしいですかね。それでは、準備がよければ、次の申請団体のプレゼンテーションを実施したいと思いますので、事務局で申請団体の誘導をお願いします。

(申請団体③ 入場・準備)

(事務局) それでは、ただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、初めに団体名及びプレゼンテーションされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は 10 分間です。終了 1 分前になりましたらベルでお知らせし、所定の 10 分になり次第、打ち切りとさせていただきますので、ご了承ください。

なお、プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただけます。準備はよろしいでしょうか。それでは、始めてください。

(申請団体③の出席者、自己紹介)

(申請団体③) 確認事項の順番に、時間が限られておりますので抜粋しながら、番号を読みながらご説明をさせていただきます。

まず、1. 設立目的、経営実績、組織の状況について。

代表企業の SSK は、スポーツ流通業において 72 年の歴史がございます。自社商品以外にナイキ、アディダス、プーマといったようなメーカー約 450 社、そして販売先 3,300 社の取引がございます。また、日本プロ野球界をはじめ、各種スポーツ団体、トップアスリートと太いパイプがございます。

一方、構成企業のクリーン工房は創業 46 年になります。建物の維持管理からスタートした会社ですが、現在スポーツとまちづくり事業を推進し、PPP 事業では数多くの実績がございます。本業のビルメンテナンス事業においても 1,500 社との取引がございます。

このように、スクール運営、イベント誘致などスポーツ全般に携わる SSK と施設の維持管理に経験と実績のあるクリーン工房が強固な一枚岩となり、枚方市スポーツ推進計画に沿って枚方市民の皆様にはスポーツの楽しさを更に伝えることができると確信しております。

続いて 5. 財務状況、同種施設の運営実績について触れます。

共同体 2 社の合算の自己資本比率は 58.0%、実質の手元現預金は 77 億円、合算の売上高は

約 630 億円、経常利益については約 18 億円、安全性、収益性ともに高く財務基盤は盤石でございます。また、同様の施設は両社合わせて 14 自治体、20 箇所のスポーツ施設を運営しております。

続きまして 8. 指定管理料のご説明です。

5 年間の総額指定管理料は、1 億 8,500 万、現指定管理料対比 89.7%でございます。金額にして 5 年間で 2,103 万 1,000 円の削減でご提案をさせていただきます。

続いて 9. の利用料金、そして駐車場の料金についてご説明をします。

利用料金に関しましては、すべて現行価格を据え置きいたします。更に今回駐車場を新設されますが、駐車場料金に関しましては、施設利用者の方は 8 時から 22 時まで 30 分 100 円、22 時から 8 時まで 60 分 100 円、そして 24 時間最大料金につきましては、施設利用者が 400 円、施設利用者以外の方は 24 時間の最大料金は 1,000 円の設定をしております。更に、施設利用者のみ、最初の 60 分は無料といたします。

続きまして 15. スポーツ教室について。

スポーツ教室は基本的な考え方は、まずは可能な限り現指定管理者の教室スケジュールを継承いたします。何よりも既存利用者の方の混乱を避け、利用の妨げにならないように努めます。そして、参加料の料金水準につきましても現行料金のままといたします。定期的に集客状況と参加者と地域のニーズを把握し、教室プログラムの見直しを図って参ります。

続いて、18. 建築設備全般にかかる点検保守について。

当事業体では、施設設備の故障異常不具合の発生を未然に防ぐ予防保全を基本的な考え方とした維持管理業務を実施いたします。PFI、PPP 事業で培った、構成企業クリーン工場の維持管理実績のノウハウを活用した保守点検で施設設備の長寿命化を図り、総合的なライフサイクルコスト縮減に寄与するとともに、安全で快適な施設環境を提供します。

次に 19. 人員配置。

勤務形態については、労働基準法等を遵守し、施設の運営に支障がないよう配置いたします。施設に配置する館長は統括責任者とし、その補佐に副責任者を配置いたします。緊急時等でも対応できるよう、統括責任者もしくは副責任者、そしてトレーニング責任者のいずれかが必ず勤務している体制づくりを行います。

続きまして、29、30 の緊急事態の対応について。

緊急マニュアルを基本に、本施設の利用者の危機を未然に防止します。利用者の安全確保が最優先、また、怪我、病気の発生時、地震発生時、台風発生時、不審者発生時の災害ケース別フローを作成し、全職員に徹底をいたします。

32. 利用者サービスを維持向上させる具体的な取り組み。

利便性の向上と安全な設備の充実を目指し、500 万円の先行投資をいたします。プランは次のとおりでございます。スリッパを抗菌すべり止めのものに全て交換をさせていただきます。そして、お客様の体の疲労回復を図るためにマッサージチェアを 2 台、設置をいたします。さらに 1 階のエントランスホールに交流の場、憩いの場として、ソファ、椅子の新調をいたします。更にキッズホールについては、クッション素材を用いた安全性、子どもたちが安全にそして快適に過ごせるキッズホールをリニューアルいたします。更に Wi-Fi エリアを設定しまして、インターネット環境を整えます。更に携帯電話、スマートフォンの充電器を設置し、充電残量を気にすることなく当施設でスポーツを楽しんでいただきます。そして大型テレビを 2 台、有線的环境を配備いたします。そして最後に、筋肉痛の緩和、疲労回復だけでなく、老化防止や集中力を高めるなど様々な効果が発揮される酸素カプセルを 1 台設置をいたします。

33. 施設の利用促進につながる広報活動について。

施設専用のホームページを新規に開設し、常に施設のイベント内容やプログラム等の最新情報をアップし、魅力のあるコンテンツを用意して参ります。また、施設情報を網羅した

リーフレットを作成します。利用料金を含めたサービス内容を掲載し、より多くの方に施設に興味をもってもらえるよう、見やすさにこだわったガイドを作成、配布いたします。そして、地域広報誌、広報ひらかたへも施設情報掲載を取り上げていただけるよう依頼します。現在運営中の指定管理施設においても、地域広報誌へ積極的に掲載し、効果が表れております。

最後に、ソーシャルメディアへ多くのユーザー数を増やしているフェイスブック、ツイッター、これを新たなマーケティングツールとし、施設やイベントの紹介、プログラム内容を載せ、リアルタイムで多くの方に情報を周知させて参ります。イベント終了時には、その日行われたイベント等を写真付きで公開をいたします。

以上、私どもの強みとして、確認事項の中から抜粋をしご説明をいたしました。どうか私ども共同事業体を指定管理者にご指名いただけますようによろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

(会長) ありがとうございます。それでは私ども委員の方からプレゼンテーションの内容と事業計画についていくつか質問させていただきます。では委員の皆様お願いします。

(B委員) 一つお伺いしたいのですが、SSK はトップブランドの会社ということで非常に経営も安定されているのはよくわかるんですね。今ご説明の中でも強みというのか、御社の強いリソースを色々お話していただいたのですが、今の類似施設を運営されている経験も踏まえて、今考えられている懸案事項というか、こういうのはちょっと懸念するのだけれども、こういうことについては会社としては取り組んでいかななくてはいけない、考えていかななくてはいけないという、強みというのか弱みというのか、そのへんはどのようなのですか。

(申請団体③) ありがとうございます。私ども代表企業だけで言いますと、社歴は 72 年間あるのですが、あくまでも流通業だけの経験でして、こういった空間ビジネスに参入したのが 4 年目となります。本当に同業他社と比べると、まだまだひよっこでございます。ただし、今までイベント事業を会社体の中でもやっておりまして、トップアスリートを招致したイベント等が非常に多いものです。それを一部強みに既存の施設では展開しておりますが、やはり現在の少子高齢化を考えると、中々競技スポーツよりもどちらかといえば健康のためにスポーツをおやりになる中高齢者のライフスタイル層が圧倒的に多いということで、今まで得意だった競技選手に向けた健康づくりから徐々にシフトしているような状態です。従いまして、今出来ていないものが何であるかといえば、高齢者のスポーツに関してはややまだ未熟でございます。そこを常に意識をしながら発展的に取り組みをしているという次第です。

(B委員) そういう面では、そういう弱みを強みに変えるチャレンジをこれからしていくと。どうもありがとうございます。

(C委員) プレゼンありがとうございます。駐車場の有料化により、利用者のハードルが少し上がるかなというところで初期投資を 500 万円していただいております、魅力的だとは思いますが、そのあたりの情報提供の仕方について、初期投資をされてもそれを知っていただけないと利用していただけないので、プロモーションで特に今までとは違う、ここに力を入れていきますという点をお聞かせていただけてよろしいでしょうか。

(申請団体③) 広報に関しましては、やはり民間の施設と違いまして、非常に広いお客様がご来館になると考えます。その分やはり伝え方も人それぞれで、情報の提供につきましては、51 ページと 52 ページでございます、ホームページ、リーフレットの配布、広報への掲載、そして SNS の活用、ポスター・チラシの作成、掲示板の設置、地域での連携による広報を考えております。

その中でも最も力を入れているのが、ホームページの活用です。これは、オリジナルのホームページを作らせていただきますが、当共同事業体本部の関連部門において、新規訪問とリピートなどのアクセスの状況を、随時分析をしまして、常に、いかに多くの方にホーム

ページに来ていただくか、そういったことを工夫しながら展開しております。

質問のお答えになっているかどうか分かりませんが、非常に多くの手法で情報発信をしたいということと、この中でもホームページには力を入れて展開していこうと考えております。

(C委員) もう一点、48ページの開放DAYについて、空き時間を利用して、と書かれているのですが、もう少し具体的に補足いただいてよろしいですか。

(申請団体③) 現在の利用者のご使用の状況と、自主事業の教室の状況以外に空いている日を使いまして、普段あまりスポーツに慣れ親しんでいない方を中心に、手軽なスポーツのきっかけ作りになるような、そういったイベントを開放DAYとして、展開しようと考えています。

(C委員) 特に休館日ですとか、開館時間以外を想定されている訳ではないということですか。

(申請団体③) はい。開館時間あるいは開場時間については、現時点では現指定管理者のスケジュールをそのまま引き継ごうと考えておりますが、5年間の中でお客様の声があればそういったことも積極的に検討し実践していきたいと思っております。

(A委員) 二つあります。一つは、コスト削減の努力について、どのように具体的にされようとしているのかというのが一点、もう一点は、計画書の34ページですが、人員配置に関してです。「人員配置図」と「職員の勤務体制」が、一致しないのです。理解不足かも知れないのですが、この図では統括責任者常勤の方が1名と書かれており、緑枠囲みだけを見ればよいのか、枠外の統括責任者の方も入るのがわからないのと、この図のどこに副責任者とトレ責任者の方が入るのがわからないので、ご説明をお願いします。

(申請団体③) 34ページの人員配置に関してお答えさせていただきます。こちらに示している図表ですが、修正事項がございまして、緑枠囲みの中に入っております統括責任者、常勤1名、これが副責任者としての位置付けとなっております。トレの責任者に関しましては緑枠囲みの下の青枠の中、スタッフに含まれる人員として構成しておりまして、新たな提案としましては、要項にありました統括責任者、副責任者に関しては正社員であること、プラス、トレ責任者も正社員として当共同事業体では雇用させていただきまして、この3正社員は必ずどこかの時間には勤務して、皆さんの安全を保障するという体制を構築したシフトを組んでいます。

(A委員) では、この緑枠囲みは、枠外の統括責任者の方も含めていると考えてよろしいですか。

(申請団体③) はい。

(A委員) わかりました。

(申請団体③) あと、経費の縮減に関しましては、削減ではなく効率化を目指していこうと。例えば、人員をただ単純に切るのではなくて、その分自主事業の経費等で売り上げを上げて効率化を図っていこうと。あとスタッフに関しましては、垣根を越えた何でも対応できるマルチスタッフの育成を強化しておりますので、例えば清掃だけとか役割分担を固定にするのではなくて、皆があらゆる仕事をこなすことで、人件費も減らすことができるだろう、そういう観点で縮減をして参ります。

(A委員) はい。わかりました。ありがとうございます。

(副会長) 自主事業で元阪神タイガースの真弓氏を招いた少年野球教室など、お子様たちが喜びそうなイベントがいっぱい載っているのですが、お子様は多分無料で参加されるのではないかと思うのですが、来ていただいたOB選手の方への謝礼などが生じるとは思いますが、収支予算書の自主事業のところイベント型ものは載せていらっしゃらないので、その費用ももちろん計上されていないということだと思います。あと500万円の先行投資についても予算書には入っていないと思うのですが、それらは全て持ち出しといたしますか、その様に考えていいのでしょうか。

(申請団体③) おっしゃるとおりでございます。当共同事業体の持ち出しです。

(副会長) ではイベントをするにしても、謝礼とかは持ち出しと理解して良いですか。

(申請団体③) はい。

(副会長) わかりました。あと、ホームページの作成なんですけど、アクセス情報の分析をされるということで、費用もそれなりに掛かってくると思うのですが、これについても収支予算書には載っていないのでしょうか。

(申請団体③) はい。載せておりません。当共同事業体の本部に情報システムというグループがありまして、随時ホームページの進捗状況なりそういったデータを確認できる部署がありますので、そこと本部ラインで連携を取りましてきっちりサービスを提供するため、費用には入れておりません。

(副会長) はい、わかりました。

(会長)他に何かございませんか。それでは、質問も出尽くしたようですので、プレゼンテーションはこれにて終了いたします。どうもありがとうございました。

(申請団体③) 貴重なお時間ありがとうございました。よろしく願いいたします。

(申請団体③ 退室)

(会長) それでは、ここで、委員の皆様から事務局にご質問、ご確認されたい事項がありましたら、お願いします。

(意見等なし)

案件(2) 採点について

(会長) 特にないようですね。それでは、次に移ります。案件(2)「採点について」を議題とします。事務局から、説明をお願いします。

(事務局) それでは、ご説明します。採点の基本的な考え方につきましては、委員会冒頭でご説明しましたとおり、確認事項および加点事項について、A評価からE評価で採点いただくものでございます。

採点に当たり、必要がございましたら、大変お荷物になるかと存じますが、採点表、評価コメントとともに関係資料をお持ち帰りいただくか、私ども事務局から郵送させていただければと考えております。

また、それぞれの申請団体について、ご評価いただいた採点表、評価コメントにつきましては、メールにて返信いただきたいと存じます。採点表、評価コメントのデータにつきましては、本日の会議終了後、各委員あてにデータを送付いたします。また、返信期限につきましては、事務処理手続きの都合上、10月29日(月)中には届きますようお願いいたします。

また、本日、申請資料一式をお持ち帰り、または郵送させていただいた場合につきましては、大変お手数ですが、次回、10月30日(火)の委員会の際、ご持参いただくか、または着払い伝票にて次回委員会の前日の、10月29日(月)までに事務局に届きますよう、郵送いただければと思います。

なお、お送りいただいた採点表、評価コメントにつきましては、事務局で取りまとめを行い、11月5日の第4回選定委員会におきまして、採点結果の集計、また、委員の皆様の評価コメントを取りまとめた案として、ご提示させていただきたいと考えております。

以上でございます。

(会長) ただいまの説明に対して、委員の皆様からご質問、ご意見等ございませんか。

(「なし」の声)

案件(3) その他について

(会長) 特にないようですので、続きまして、案件（3）その他について、事務局から何かありますか。

(事務局) 次回の委員会につきましては、枚方市立総合スポーツセンターのプレゼンテーションを10月30日、火曜日の午後7時頃から、市役所別館4階、特別会議室で開催いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

(会長) 以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。よって、第3回枚方市立市民体育館教育委員会指定管理者選定委員会を閉会します。

委員の皆さん、どうもありがとうございました。

(閉会 午後7時45分)